

# 二中だより

国立二中ホームページにも掲載：国立第二中学校へアクセス

令和6(2024)年 4月15日

国立市立国立第二中学校

校長 黒田 宏一

国立市富士見台3-30

電話 572-2187

## 新年度にあたって～子供が主役となる学校をめざして！

校長 黒田 宏一

令和6(2024)年度の国立二中が出発しました。4月9日(火)には、第67回入学式を挙行し160名の生徒が入学し、全校生徒557名、支援学級A組3学級、在籍学級15学級の計18学級でのスタートとなりました。この1年、生徒が主役となり「自分たちが主体的に国立二中を創る」ための学校生活を送ることができるよう教育活動を推進し、その充実に努めて参ります。よろしくお願いいたします。

さて、3週間前の3月19日(火)には、185名の生徒が卒業し本校を巣立っていきました。「別れの言葉」と合唱2曲を披露した直後には、期せずして拍手が沸き起こる感動的な卒業式となりました。前途に幸あれと祈るばかりです。また、在校生代表の生徒会長は「送る言葉」の中で、「『共に学び、共に助け合い、共に生きる』を二中の精神として継承し」とそのバトンを引き継ぐ決意を話してくれました。これは入学式でも「『共学・共助・共生』、これが二中のモットーです。」と「歓迎の言葉」で新入生に訴えてくれていました。卒業生を含めた生徒の皆さんの中に「3つの共」が息づきつつも、自分事として理解し学校生活に活かしてもらいたいと願っています。

ところで、中学校では年度当初に学年集会を開き、生徒に向けて1年の目標や願いを伝える時間がよく設けられます。11日には2、3年生が集会を開催しましたが、時代は変わりました。3年生では、グループエンカウンターの手法で生徒同士のコミュニケーション作りを最初に行っていました。

未来を生きる子供たちが身に付けたい力として、非認知スキルが注目されていますが、コミュニケーション力もその一つです。本年度その習得にも力を入れて参ります。そしてこのスタートが、新しい仲間との円滑な関係構築に繋がればと思います。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、本年度も変わらぬ御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。ここに、本年度の学校経営の方針をお知らせいたします。

### 《 教育 目 標 》

たくましく現代に生き、平和で幸福な未来社会を創造する人間性豊かな生徒の育成をめざす

一、よく考え進んで学習する生徒

一、思いやりをもち協力する生徒

一、自らの心と体をきたえる生徒

一、正しく判断し実行する生徒



#### 1. 令和6年(2024)年度の重点目標

共に学び、共に助け合い、共に生きる 「共学」「共助」「共生」の国立二中

#### 2. 指導の柱(重点)

##### (1) 主体的な学びを高める学習指導～共に学ぶ「共学」

①全教職員の英知と創意工夫を結集し、主体的に学習に取り組む生徒、共に学ぼうとする生徒の育成をめざす。

②「わかる喜び」のある授業、意欲の高まる授業作りに励み生徒の自己肯定感を醸成する。

③学びの質を高めるため、授業改善を推進し、「基礎的な知識・技能」の習得に努める。

④「思考力・判断力・表現力」を育て、生徒の「学びを活用する力」の伸長を図る。

⑤GIGAスクール構想に基づき整備されたICT環境により、教育用タブレットの効果的活用について積極的に推進する。

##### (2) 規範意識を高め、自他を敬う生活指導～共に助け合う「共助」

①率先して全教職員が、生徒の模範となる行動・教育活動の実践を行う。

②生徒一人一人に寄り添い、生徒が安心して生活できる(居心地の良い)場を作る。

③特別の教科「道徳」の授業を要として教育活動全般を通じて心の教育の充実に努め、「感謝・思いやりの心、共助の精神」を育み、共に助け合う生徒の育成をめざす。

##### (3) 互いの良さを認め合う特別活動～共に生きる「共生」

①限られた時間の中で、生徒が主体となって活動する学校行事、生徒会活動等の充実を図り、生徒の「自分たちの学校」との意識を高める。

②全教員が力を合わせ学級経営、学年経営の充実を図り、温かな人間関係を構築する。

③学校教育の一環としての部活動等を通して、自主的・自律的運営力の育成を図る。

##### (4) 特別支援教育の充実

①特別支援学級「A組」の円滑な運営と「交流及び共同学習」を推進する。

②特別支援教室「かがやき」の円滑な運営と全教員の連携強化を図る。